

令和8年度（2026年度） 防府市立国府中学校 学校経営ビジョン

【山口県の教育目標】

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成 （やまぐちっ子の姿）

- ★ 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
 - ★ 知・徳・体の調和のとれた生きる力を身に付けるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人
 - ★ 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人
- 「3つの力」…学ぶ力・創る力・生き抜く力
「3つの心」…広い心・温かい心・燃える心

【防府市教育のめざす姿】

（めざすまちの姿）

「教育のまち 日本一 ～楽しく学んで幸せに～」

（めざす人の姿）

- ・ 学びを楽しみ、変化に立ち向かう人
- ・ 多様性を尊重し、他者と豊かにかかわる人
- ・ ふるさとを愛し、未来を創る人

（基本目標）

「未来社会を見据え、たくましく生き抜く人材の育成」

【校訓】 誠実・敬愛・勤勉

【学校教育目標】 ふるさとを愛し 学ぶ意欲と豊かな人間性にあふれた 心身ともに逞しい生徒の育成
～一人ひとりの人権が保障され、生徒がいきいきと活動し、挑戦と感動のあふれる学校～

《生徒会がめざす生徒像》 「共縁」～一人ひとりの最大の熱量で、ともに歩むことができる生徒～

【学校の課題】

- ① キャリア教育を基軸にした組織的な学校運営
- ② 小中・中高連携、及び地域や専門機関と連携した教育の推進
- ③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、計画的・継続的な授業改善の推進
- ④ 個別のよさを生かし、伸ばす「発達支持的・課題予防的生徒指導」の充実
- ⑤ いじめや不登校の未然防止等に向けた取組の充実
- ⑥ 健康・体力の向上と豊かなスポーツライフの実現に向けた健康教育の推進
- ⑦ キャリアステージを意識した教職員の人材育成
- ⑧ 学校の教育環境の充実
- ⑨ 地域発展に寄与する教育活動の推進

【生徒の状況】

- ① 学力の向上をめざす、まじめな学習態度
- ② 明るく素直で、勤勉な態度
- ③ 地域に貢献しようとする献身的な態度
- ④ 他者の意見を尊重する協力的な態度
- ⑤ 建設的な意見で集団を導くリーダー

【保護者・地域社会の願い】

- ① 安心・安全な学校生活の維持
- ② いじめのない良好な人間関係の構築
- ③ 生徒に寄り添う積極的な生徒指導の推進
- ④ 学習指導の充実
- ⑤ 開かれた学校（地域行事への積極的参加）
- ⑥ 豊かな人間性にあふれた生徒の育成
- ⑦ 何事にも粘り強く努力する生徒の育成

【教職員の願い】

- ① 将来に志（夢）と希望をもつ生徒の育成
- ② 困難に立ち向かう逞しい生徒の育成
- ③ 自治的風土のある規律ある学校生活の実践
- ④ 学びに意欲的に向かう生徒の育成
- ⑤ コミュニケーション能力の育成

【めざす生徒像】

- ① 礼儀正しく、真心を持って行動する生徒 【誠実】
- ② 思いやりがあり、社会や人のために尽くす生徒 【敬愛】
- ③ 自ら学ぶ意欲をもち、心身ともに逞しい生徒 【勤勉】
- ④ ふるさとを愛し、ふるさとから愛される生徒 【地域貢献】

【めざす教職員像】

- ① 生徒を認め、ともに伸びる教職員
- ② 使命感をもち、専門性を高めあう教職員
- ③ 活力に満ちた、実践力のある教職員
- ④ 生徒・家庭・地域から信頼される教職員

【めざす学校像】

【生徒】 行きたい学校 【保護者】 通わせたい学校 【地域】 支えたい学校 【教職員】 働きたい学校

【本年度の重点目標】

- ◆ 人間力を育むキャリア教育の推進
- ◆ 未来の創り手となるために必要な資質・能力を踏まえた、自ら学ぶ力（自立した学習者）の育成
- ◆ 家庭・地域と連携した教育の実践《コミュニティ・スクール》

【チャレンジ目標】

- ・ 元気にあいさつ、さわやか笑顔
- ・ 無言清掃で心を磨く
- ・ 和顔愛語（わけんあいご）
- ・ 授業開始3—2—1アクション

【学校経営の3つのビジョン】

- ① 教職員一人ひとりの主体性や特性が生かされた、心理的安全性が高い組織的な学校運営を推進し、生徒主体の活動に重点を置いた「挑戦と感動があふれる学校」を目指します。
- ② 教職員は常に高い倫理観をもって行動し、保護者、地域との深い信頼関係と連携・協働体制を構築します。また、その中で、生徒一人ひとりの「人間力（生きる力）」を育む教育を実践します。
- ③ 「キャリア教育」と「特別支援教育」の視点に立ち、「コミュニティ・スクール（地域連携・異校種間連携）」を柱とした「社会に開かれた教育課程」による教育活動を推進し、「やまぐちPRIDE」の醸成に努めます。

★「繋がり」を大切にす学校運営

(1) 心理的安全性が高い組織的な学校運営の推進

- ① 教職員一人ひとりが、学校教育目標に基づき、生徒の夢の実現を図れるようにする。そのために、全教職員が、自身の専門性や強みを生かしながら、より組織的な活動や提案ができる学校・職場づくりに努める。(組織運営)
- ② 小学校及び高等学校との連携を強化し、生徒一人ひとりが学びを連続・発展させることができるようにする。(異校種連携)
- ③ 自他の人権を認め、尊重し合う心の醸成を図り、絆を大切にす学校・地域づくりに努める。(安心・安全な居場所づくり)

(2) 社会に開かれた教育課程の実現

- ① 社会が求める人材の育成を目指して、発達段階に応じて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた継続的な授業改善に努めるとともに、体験活動や探究的な学び(活動)を計画的に仕組み、生徒の主体的に学びに向かう力(自立した学習者)の育成を目指す。
- ② 各教科、総合的な学習の時間、特別活動の中に、人権教育、道徳教育、特別支援教育、キャリア教育、国際理解教育、情報教育等の視点を持ち、今日的課題に対応した教育課程(社会に開かれた教育課程)を編成し、実施する。
- ③ 地域の人的・物的資源(企業・自然・伝統・文化等)を教育活動に活用し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

(3) コミュニティ・スクールの推進

- ① コミュニティ・スクールの取組を通して、ふるさとへの愛着を深めさせる。
- ② 生徒一人ひとりが自身の役割を理解し、相互のつながりを感じることができる主体的・創造的・協働的な活動の時間(場面)を設け、感謝や思いやりなどの豊かな心を育む。
- ③ 学校・保護者・地域と連携・協働を促進し、学校及び地域の課題解決に向けた活力ある教育活動を展開する。

OECD「ラーニング・コンパス(学びの羅針盤)2030」

より良い未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシー

新たな価値を創造する力

責任ある行動をとる力

対立やジレンマに対処する力

「生徒は自分個人のウェルビーイングを求めただけではなく、その仲間、家族、コミュニティ、それから地球のウェルビーイングにも配慮するように学ぶことが期待されるのです。」

OECD Learning Compass 2030 仮訳から抜粋

2 社会的自立をめざすカリキュラム構成のための条件整備

